

ダイアボンド No.2000A
No.2000B

ダイアボンドNo.2000A, ダイアボンドNo.2000Bは、二液形常温硬化性エポキシ樹脂系接着剤です。硬化後は熱硬化性の強固な樹脂膜を形成し、下記に示すような特長を持っています。

§ 特長

1. 金属, 木, その他各種物質に対する接着力が大である。
2. 耐熱性に優れています。
3. 硬化後の収縮が少なく、注型物の正確さに優れています。
4. 強靱な硬化物を作り圧縮, 引張り, 曲げ等の特性に優れています。
5. 耐薬品製はきわめて良好でことに油, アルカリ, ガソリンに対する耐性に優れています。

§ 一般性状

	No.2000A		No.2000B	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	アミン	エポキシ樹脂	アミン
外観	淡黄色透明	淡黄色透明	淡黄色透明	淡黄色透明
不揮発分 (%)	100	100	100	100
粘度 (mPa·s) at20℃	2,000~4,000	50 以下	2,000~4,000	50 以下
混合比 (重量)	100 対 25		100 対 11	
保証期間 (月) at25℃	12		12	

§ 可使時間 (30g 混合)

	No.2000A	No.2000B
at 10℃	120 分	90 分
at 20℃	90 分	60 分
at 30℃	60 分	30 分

§ 硬化時間

	No.2000A	No.2000B
at 20 °C	24 時間	16 時間
at 25 °C	20 時間	12 時間
at 30 °C	12 時間	8 時間

* 加熱することにより硬化は著しく促進させることができます。

§ 使用方法

No.2000Aの場合は、主剤と硬化剤を重量比で100：25の割合に混合し、No.2000Bの場合は100：11の割合で混合します。混合後、反応は直ちに開始し、粘度上昇し始めます。そして、最後にそれはゲル化し、使用不可能となります。

可使時間と硬化時間は混合量と温度とにより変化します。

混合量が少ない場合は可使時間が長く、特に冷却することは可使時間を延ばすのに効果的です。接着に際し、被着体表面の水、油、ゴミなどは完全に除去することが必要です。金属の場合は、表面をバフかけすることが望ましく、その後、溶剤を含んだ布で拭き取ります。

§ 接着性能

引張りせん断強さ

【MPa】

		No.2000A		No.2000B
		鋼板／鋼板	アルミ板／アルミ板	鋼板／鋼板
耐熱性	0°C	19.2	18.0	17.8
	20°C	19.0	17.5	17.4
	60°C	9.4	8.8	10.6
	80°C	3.2	3.0	3.8
耐水性 (at20°C)	3日目	18.0	17.0	17.6
	7日目	17.7	16.5	17.4
	15日目	17.2	16.3	17.2
耐油性 (at20°C)	3日目	18.8	17.2	17.8
	7日目	18.6	17.0	17.8
	15日目	18.4	17.0	17.7

試験方法：JIS K 6850 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 使用可能時間は、気温や混合量によって異なります。混合量は、可使時間内に使い終える量にして下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 使用器具の洗浄には、メチルエチルケトンやトルエンをご使用下さい。
- ・ 作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取り扱い中は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクを付け、さらに頭巾、保護眼鏡、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋を着用して下さい。
- ・ 容器から出し入れする時は、こぼれないようにして下さい。容器からこぼれた場合には、布でふき取り、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- ・ 作業着などに付着した場合には、その汚れを良く落として下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合は、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。